

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 八百津高等学校 運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月10日(月) 15:30~17:05
- 3 開催場所 八百津高等学校 会議室
- 4 参加者
- | | | |
|--------|--------|------------------|
| 会長 | 渡辺 隆正 | 八百津中学校校長 |
| 副会長 | 山口 茂義 | 錦津コミュニティセンター館長 |
| 委員 | 上北 泰久 | 八百津東部中学校校長 |
| | 千葉 智治 | 錦津小学校校長(欠席) |
| | 宮ノ腰美ゆき | 八百津町教育長職務代理者(欠席) |
| | 武市 由紀子 | 八百津町教育相談アドバイザー |
| | 林 善次 | 同窓会長(欠席) |
| | 土谷 成生 | PTA会長 |
| | 可児 琴音 | 八百津高校卒業生代表 |
| オブザーバー | 加藤 大博 | 岐阜県議会議員 |
| | 金子 政則 | 八百津町長(欠席) |
| | 社本 勝義 | 八百津町教育長 |
| | 佐合 智尚 | 佐合食品専務 |
| 学校側 | 岩島 章雄 | 校長 |
| | 小林 和豊 | 教頭 |
| | 兼松 義治 | 学習支援部部長(教務主任) |
| | 井戸 礼子 | 生徒支援部部長(生徒指導主事) |
| | 吉井 賢吉 | 進路支援部部長(進路指導主事) |
| | 貝川 友子 | 記録 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和6年度の学校運営計画等について

意見1: 連携型中高一貫教育ではチャレンジテスト(数学・英語)について高校の先生が状況をチェックすることにより中学生が八百津高校を身近に感じていることは達成できていると考えられる。

意見2: 中学生の体験入学でデュアルシステムについて連携校の生徒の姿と語りから、成長している姿や自信をもって高校3年生になっていることがうかがえる。

中学校では教員と生徒との距離が近く、一人一人の生徒に対して親身になって指導しているが、八百津高校においても、同じように教員との距離が近いことを感じる事ができた。今後とも親身で手厚い指導をするとよい。

(2) 令和6年度の教育課程について

意見1： 学力の差に合わせてクラスを分けて「自分ではできた」という成功体験を積み重ねることにより、自信を持って卒業していけることが素敵である。わからないところは、そのままにせず、授業が終わった後に先生が個別で対応して下さり、とても手厚く指導をしていただきました。そういう体験があって、就職してからも今頑張れているところがあります。今後も続いていくといい。

意見2： 八百津高校には魅力がたくさんある。社会に出れば、勉強ができる・できないは関係がない。コミュニケーション能力をつける学校として、八百津高校には魅力が十分にある。子どもの数をみるだけでも人口は減っている。予想はできているので、その中で八百津高校が存続していく方法を考えなければならない。

(3) その他

意見1： 少人数クラスの指導や家庭でのノート学習など、子どもたちに寄り添った指導を継続しており、その努力が続いていてよい。

意見2： 1年生の入学生徒数が85名ということできさらに魅力ある学校になるために、生徒自らがルールなどを決めるなど自分たちの学校生活を主体的に考える場を提供するとよい。

意見3： 生徒が近年の卒業生の現況を聞く会など卒業生の人的資源の有効活用を考えるとよい。

質問1： 高校でのコロナの影響を教えてください。

回答1： 進路では、コロナ時代を過ごした卒業生の離職率は非常に高かった。何も達成感なく高校を卒業して、入社した先でも、飲み会もなく、淡々と仕事をする中で、なにか違うのではないかと感じ、4分の1から3分の1ぐらいが退職しました。

回答2： コロナ前は3年間皆勤者が多かった。コロナ時は「少しでも熱あったら休みなさい、頭痛あったら休みなさい」と言われ、学校に来ないことが、苦ではなくなった。多少熱があっても、お腹痛くても来るっていうような生徒はもう皆無。コロナ後は、3年間皆勤者が稀になってきた。

6 会議のまとめ

- ・今年度の学校経営計画等について全委員から承認が得られた。